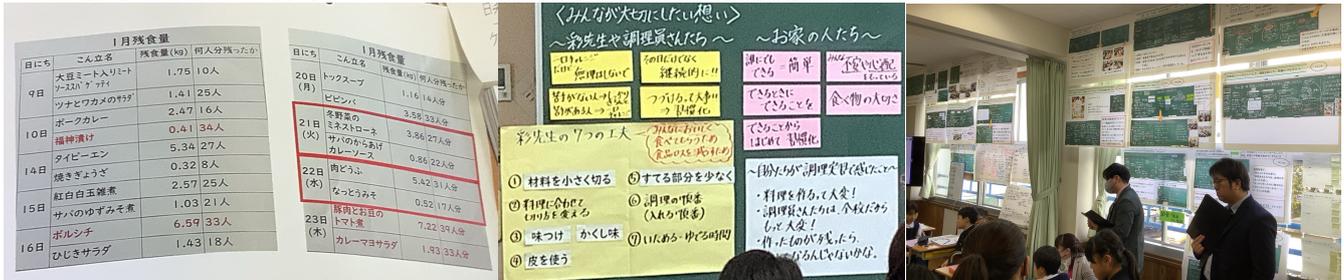


めあて「1回目の結果とアドバイスを生かして、2回目の4年3組の取組につなげよう。」

(知ろう!考えよう!広げよう!身近にある食品ロス～食品ロス減らし隊～)

本時では、給食や家庭での食品ロスを減らすための4年3組が行う取組の方法について、1回目の取組期間中の残食量を比較・関連付けながら分析した結果や、その取組に対してのアドバイスをもとに2回目の取組で目指したいことを話し合ったり、理由付けや具体化を意識しながら改善点を整理したりすることを通して、残りの時間で自分たちにできることを考えるという学習内容であった。



児童は、栄養教諭からもらった残食量や、事前に聞いていた「彩先生(栄養教諭)や調理員さんたち」「お家の人たち」の思い、これまでの学びの足跡等を情報として活用しながら、結果を分析したりこれから自分たちにできることを考えたりしていた。全校児童やお家の人に「もうちょっと頑張ってみよう!」と思ってもらえるように、「“食品ロス”って言葉自体を、低学年の人にもわかるような簡単な言葉に変えた方がいいと思います。」「チェックシートに色をつけたり目的を書いたりして、もっと伝わりやすくなった方が取り組んでもらえると思います。」等、2回目に取組に繋がるアイデアを意欲的に考えていた。



大分県教育委員会の友永指導主事からは、「1回目の取組結果についてじっくり情報を見る時間が設定されていたため、2回目に向けての取組のアイデアが活発に出されたのだと思う。」「児童が取り組んだ活動の先に目指す最大の目的について確認することの大切さや、自分たちの取組に対しての評価(全校児童からのアンケート、栄養教諭からの価値づけ等)について考えさせることが、これまで自分たちが取り組んできた学びの価値の認識や次の学年の学びへと繋がる」等のご指導をいただいた。

